



三田ヶ谷公民館だより

令和 8年8月1日
発行 三田ヶ谷公民館
TEL 565-0040

やってきた! 夏の新しい本!!

夏、三田ヶ谷公民館に新しい本がやってきました!

夏の思い出に、大人も子どもも本の世界にひたってみてはいかがでしょうか。

- ・『うどんねこ つるむちっ! コシのひみつ』(スケラッコ作・ポプラ社)
- ・『犬にかまれたチイちゃん、動物のおいしゃさんになる』(今西乃子作・岩崎書店)
- ・『日下部くんには日傘が似合う』(神戸遥真作・あかね書房)
- ・『君の火がゆらめいている』(落合由佳・講談社)
- ・『見えるか保己一』(蟬谷めぐ実・KADOKAWA)
- ・『科学的に証明されたすごい習慣大百科』(堀田秀吾・SBクリエイティブ)



田舎教師セミナー 第2弾 「気軽にエッセイ創作講座 ～実践編～」

- 日時 9月27日(日)午前10時00分～11時30分 ○講師 高鳥邦仁
○場所 三田ヶ谷公民館 ○費用 無料
○対象・定員 市内在住・在勤・在学の方15名(先着順)
○申込み・問合せ 8月9日(日)から 三田ヶ谷公民館(565-0040)へ



“レリーフ”を展示しています!

塩原康正 様が制作した「詩人 宮澤章二先生」のレリーフを、株式会社トレンディの平野賢治 様、有限会社ミロク自動車の須永弘 様より多くの方に見ていただきたく、三田ヶ谷公民館の事務所カウンターに展示しています。

ご来館の際は、ぜひご覧ください!

はっらっ教室

日 時:8月28日(金) 午前10時~11時

持ち物:タオル・飲み物

場 所:三田ヶ谷公民館和室

問い合わせ 健康づくり推進課

健康運動教室

日 時:8月5日(水)・ 9月2日(水)

午前10時~11時30分

持ち物:タオル・飲み物

場 所:三田ヶ谷公民館和室・講堂

問い合わせ 健康づくり推進課

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
26	27	28	29	30	31	1

2 3 4 5 6 7 8

9 10 11 12 13 14 15

16 17 18 19 20 21 22

23 24 25 26 27 28 29

30 31 1 2 3 4 5

8月公民館休館日



「いいでえー！！三田ヶ谷！ ～歴史と文化～」

(第26回 江戸時代の風景)

夏本番を迎え、田んぼの稲はすくすく育ち、青い絨毯のように広がっています。この三田ヶ谷地区を象徴するような**田園風景**は、昔からのものなのでしょうか？

『武蔵田園簿』という資料があります。江戸時代の正保元年（1644年）頃に作成された土地台帳で、各村の生産高が載っています。これを見ると、**上三田ヶ谷村**と**下三田ヶ谷村**の米の生産高は合わせて約886石で、畑は約334石でした。これに対し、**上・下弥勒両村**は米が約457石で、畑は616石です。**喜右エ門新田村**は米が約294石、畑が約156石に対し、**与兵衛新田村**は米が約13石、畑は約121石という生産高でした。**上・下日野手新田両村**は、まだ記載されていません。

これを見ると、上・下三田ヶ谷両村と喜右エ門新田村は**田んぼ**が多く広がっていましたが、上・下弥勒両村と与兵衛新田村は、**畑**の方が多かったことがわかります。与兵衛新田村に関しては、畑が田んぼに比べて約9倍も多く占めていたことになります。これは地形の高低差によるものでしょう。低地が比較的多いところでは米を作りやすく、用水を引くのが難しい高地では、畑にせざるを得なかったと思われます。昔から米が生産されていたことは間違いありませんが、江戸時代において、田んぼよりも畑の比率の方が高い地域もあったということです。

夕方になると、豊かに育った稲がうねるように風に吹かれます。稲のざわめきを耳にしつつ、吹き抜ける風のように流れていった歴史と地域の変化に想いを馳せてみてはいかがでしょうか。